

Dscan サーチ時の取り込み枠調整方法

1. 通常通り、描画パターンを立ち上げた後で Dscan を立ち上げ、SendDscan
2. Dscan のメニューバーから、"MarkSearch" - "Mode"を選択する。ウィンドウ内の" Save" ボタンを押して、自分の研究室のフォルダなど保存される場所を確認した後で適当な名前 (初期状態で "Sch Condition") でサーチ条件を保存する。
3. 2 で保存したファイルをクリックしてエディタを起動する。
4. ファイル内の最初の 2 行はいじらない。その後のパラメータの意味は以下のとおり。
Step --- 1 から 10 までであるが、行の削除はしない。この順番で実行していく。
Reserve ---
 "1" その行の内容をスキップ
 "2" 中心決めの動作 (通常、Dscan の " 1 " 番の枠で行っている動作)
 "4" 外側 4 箇所動作 (通常、Dscan の " 2 ~ 5 " 番の枠で行っている動作)
 "132" 終了
Width --- 枠の大きさ
Distance --- 枠位置の中心からの距離
Displacement --- 調整を行う際の位置ずれの許容範囲 (あまり小さくすると終了しなくなる)
Resolution --- 解像度 (最高で 10000)
 枠の大きさはファイル内では任意に指定できるが、実際の Dscan 上では 500 ピクセル以上の大きさにはならない (1 番の枠のみ最大 1000 ピクセル)。これ以上の大きさを指定した時は、500 ピクセル分の大きさの枠になる。500 ピクセル分の大きさは、解像度が 10000 であればフィールドサイズの 20 分の 1 の大きさである。
 以上を確認し、ファイルを保存して終了する。
5. 再び、Dscan のメニューバーから、"MarkSearch" - "Mode"を選択する。ウィンドウ内の " Load" ボタンを押して、さきほど保存したファイルを読み込む。次に " Condition Lock" にチェックを入れ、" Set" する。
6. Dscan のメニューバーから、"MarkSearch" - "Search Start" を選択し、Dscan での調整作業を行う。
7. Dscan の調整作業が終了し、" Get Dscan" を行ったら、Dscan を終了させる。

自動調整 (Dscan による調整を自動で行う)

1. 通常通り、描画パターンを立ち上げた後で Dscan を立ち上げ、SendDscan
2. Dscan のメニューバーから、"MarkSearch" - "Mode"を選択する。ウィンドウ内の" Auto Search" にチェックを入れて、Set する。
3. Dscan のメニューバーから、"MarkSearch" - "Search Start" を選択し、Dscan での調整作業を行う。

1 番の枠で目印が真ん中にくれば後は自動で最後まで進むはずであるが、うまく行かない時もあるので、その時は Dscan を一度終了し、手動での調整を行う。